



平成28年7月27日

北陸地方整備局  
飯豊山系砂防事務所

記者発表資料  
同時発表記者クラブ  
・山形県記者クラブ  
・新潟県記者クラブ

## 荒川流路工完成20年イベントを実施

荒川流路工が完成から20年をむかえることから、アニバーサリープロジェクトとして、改めて理解を持ってもらうため荒川流路工パネル展示等を行います。

例年は、土石流模型実験装置と防災啓発パネルの展示のみであるが、今回、平成28年(2016年)熊本地震や平成27年9月関東・東北豪雨など、近年、地震災害、豪雨災害、土石流災害が多発していることから、これらの意識も高めてもらうため降雨体験装置、地震体験装置も設置します。

当イベントは、例年実施されている魚のつかみ取り大会に合わせて実施するものです。

### ■概要

○日時：平成28年7月31日(日) 9時30分～13時

○場所：りふれ(中庭)  
山形県西置賜郡小国町大字五味沢513

○展示・体験コーナー等

- ①パネル展示 (荒川流路工に関するもの、羽越災害、地震災害に関するもの)
- ②地震体験装置
- ③降雨体験装置
- ④土石流模型実験装置

お問い合わせ先  
国土交通省 北陸地方整備局 飯豊山系砂防事務所  
副所長(技術) 石田 正樹  
調査課長 吉田 克美  
電話：0238-62-2566(代表)  
<http://www.hrr.mlit.go.jp/iide/>

# イベントの日時など

○日 時： 平成28年7月31日(日)

9:30~13:00 ※小雨決行

○場 所： 山形県西置賜郡小国町大字五味沢513

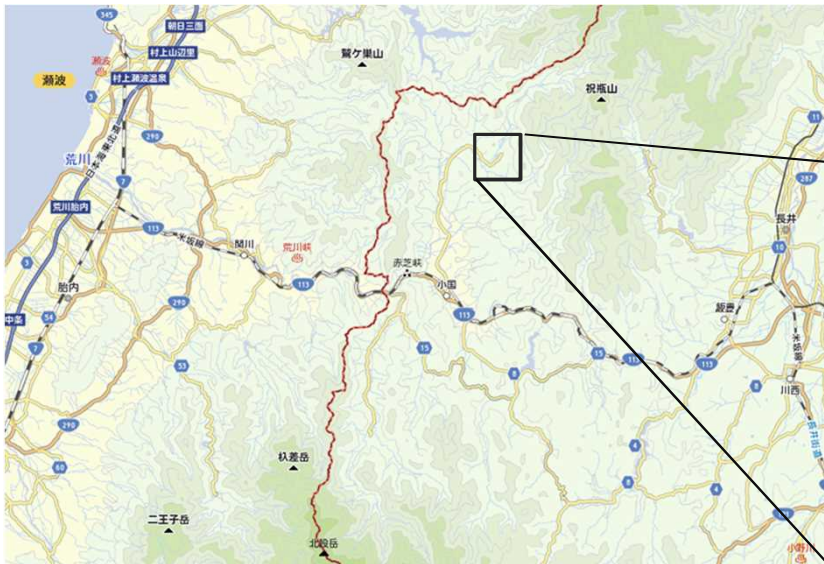
白い森交流センターりふれ

(TEL 0238-67-2011)

○アクセス： 小国町市街地より 約18km。

国道113号線、小坂町交差点から 県道261号線(県道五味沢小国線)にて北進。

「りふれ」の木製看板にて左折し  
突き当たりが「りふれ」になります。



魚のつかみどり大会  
会場

荒川流路工20年  
イベント会場



<会場の配置予定>



# 学習・体験コーナーについて

## ■降雨体験装置

近年ゲリラ豪雨など、豪雨災害が多発していますが、その雨の強さを身をもって体験できます。

- 時間雨量 10ミリから180ミリまで段階的に体験できます。
- 一度に4名まで体験できます。
- 過去の災害の降雨を体験できます。

体験できる過去の災害と降雨は下記の4つの災害です

羽越水害(昭和42年8月)	最大時間雨量	83ミリ
7.11水害(平成7年7月)	最大時間雨量	52ミリ
新潟・福島豪雨(平成16年7月)	最大時間雨量	58ミリ
昭和57年7月豪雨(昭和57年7月)	最大時間雨量	187ミリ



降雨体験装置



体験中の様子

## ■地震体験装置

今年4月に発生した熊本地震など、地震の恐ろしさ、被害に対する備えを学習できます。

- 上下左右前後の動きで、震度4~7まで段階的に地震を体験できます。
- 一度に4名まで体験できます。
- 過去の地震を再現できます。

体験できる過去の地震は下記の6つです

関東大震災(大正12年9月)	最大震度6
新潟地震(昭和39年6月)	最大震度5
阪神淡路大震災(平成7年1月)	最大震度7
新潟県中越地震(平成16年10月)	最大震度7
能登半島地震(平成19年3月)	最大震度6強
新潟県中越沖地震(平成19年7月)	最大震度6強



地震体験装置



土石流模型実験装置

## ■土石流模型実験装置

砂防えん堤が設置されている場合と、設置されていない場合、それぞれで土砂を流し、土石流の強さを体験、また、砂防えん堤の役割についても学習することができます。

## ■パネル展示

例年、土砂災害に関するパネルなど防災について啓発するパネルの展示を行っていますが、今回は、荒川流路工20年のため、施工当時の状況や、流路工が整備される前の状況などを紹介したパネルも展示します。



荒川流路工に関するパネル



# 荒川流路工について

荒川流路工は、荒川上流部の山形県小国町大字五味沢地先に位置する延長約1.8kmの流路工です。

この地区は過去、昭和42年8月の羽越水害に代表されるような災害を受けてきました。

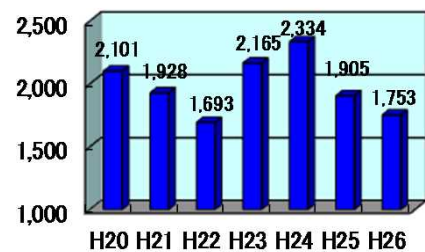
このような災害を防ぐため、昭和62年より着手し平成8年に完成した流路工です。



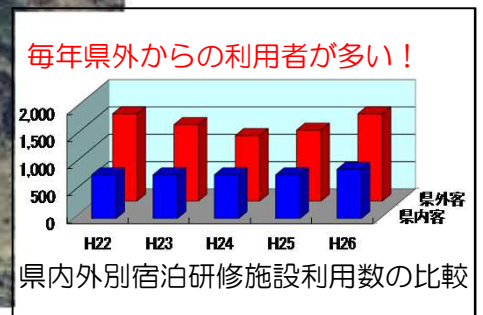
## <荒川流路工整備による効果>

○本区間は、洪水時に乱流・侵食が繰り返される不安定な河床を呈しており、度重なる氾濫が起っていたが、流路工整備により流路が安定。

○流路が安定したことにより背後地を活かしたレジャー施設が整備でき、県外からも観光客が来場。



★年間平均で  
約2,000人が利用



毎年県外からの利用者が多い!

県内外別宿泊研修施設利用数の比較

.....: 整備区間  
平成18年撮影